

インテリジェンス機能の強化に関する有識者会議 説明資料

令和8年9月28日

内閣官房国家情報局

1 地政学的な競争と経済安全保障

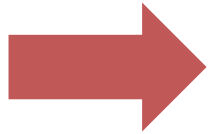
- 多国間主義、国際法及びそれらを支える普遍的価値、グローバル・ガバナンスへの挑戦が強まり、**地政学的な競争が強まる**。
- 地政学的な競争は伝統的領域にとどまらず、**経済、サイバー、情報・認知空間、海洋、宇宙**など、国家や民間アクターが行う**様々な活動領域に拡大**。
- **経済と安全保障の連関がますます強まり**、紛争や経済的威圧等に起因するサプライチェーンへの対応、先端技術の開発促進と保護、製造基盤の強靱化等が課題に。

2 「新しい戦い方」とテロリズム

- 軍事力におけるAIや無人機等の先端技術を活用した**「新しい戦い方」**が出現。
- **CBRNE（シーバーン）テロ**を含め、テロの兆しにも注視する必要。

3 不当な工作のリスクの増大

- 地政学的な競争の強まり、先端技術を活用した「新しい戦い方」や経済安全保障の重要性の高まり等により、**機微技術の取得のほか、世論の分断や社会対立の増幅等を企図した影響工作への懸念が増大**。



厳しさを増す国際情勢に我が国が適切に対応し、我が国の主権と独立を維持し、領域と国民の生命・身体・財産を守り抜くためには、政府が**中長期的な方針**に基づき、**情報力を強化していくことが必要**。

1 サプライチェーンの途絶リスク

- ①他国における紛争などによる必要物資の供給途絶
②懸念国等との地政学的対立に起因する重要資源等の供給制限
など、我が国が直面するサプライチェーンの途絶リスクが顕在化。
→必要物資・重要資源等について、特定国に過度に依存することのない強靱なサプライチェーンを構築することが課題。

2 AIをめぐる大国間の覇権競争

- AIは、その性能の飛躍的向上により、様々な分野での効率性や利便性を大きく高めるほか、国民生活の向上、国民経済の発展に大きく寄与。また、AIの軍事への応用分野は、情報収集・分析、サイバー、意思決定支援、ロジスティクス等多岐にわたる。
→AIをめぐる主導権争いは、今後の経済活動を支える基盤や、安全保障上の優位性を大きく左右する課題。

3 製造基盤の強靱化

- 経済的合理性の追求を背景に、国内の製造基盤が縮小
→安全保障上必要な物資の特定国への過度な依存の低減、我が国の自律性の向上、技術等に関する我が国の優位性、不可欠性の確保の観点からも、国内の製造基盤の維持・強化が課題。



経済安全保障に関する新たな課題は、外交・情報・軍事・経済・技術等、様々な分野に関連。関係機関が連携して高度な情報の収集と分析を行い、政策部門による的確かつ迅速な対応につなげていくことが重要。

懸念国等の不当な工作のリスク

1 機微情報を狙った工作

- 民間企業や研究機関等における**先端技術分野を狙った不当な工作**。
- 機密情報や知的財産の窃取を企図した**サイバーエスピアナージ**。

2 重要インフラ等を狙ったサイバー攻撃

- **重要インフラ**の基幹システムや**社会の機能**を麻痺させることを企図したサイバー攻撃。
- **AIの悪用や踏み台経由の攻撃等**、サイバー攻撃の手法はますます高度化・巧妙化。

3 認知領域での工作

- 政府の信頼低下や**社会の分断**、我が国の国際的な評価の毀損、同盟国・同志国との連携の阻害等を企図した**外国からのナラティブや偽情報の拡散**などの影響工作。

国内での事例

- ✓ ロシアの情報機関員とみられる在日通商代表部員が我が国工作機械関連会社の従業員に金銭提供するなどして働きかけ、同社の**営業秘密である機密情報を不正に取得**したとして警視庁が検挙。
- ✓ 北朝鮮のIT労働者が、情報窃取等の悪意ある**サイバー活動に関与**している可能性。
- ✓ 第51回衆議院議員総選挙に際して、SNS上で多数のアカウント群が我が国政府の政策等を批判する内容を投稿・拡散していたと報じられたほか、政府において、外国のものと疑われる不審アカウントが同選挙に関する内容を投稿している事例を一定数把握。

海外での事例

- ✓ 中国を背景とすると指摘される「VoltTyphoon」が、グアム等の米軍・政府機関や重要インフラ事業者の情報システム・ネットワークに長期間侵入した事例が報告。
- ✓ 米国カリフォルニア州の市長が中国から指示を受け、地元の中国系米国人コミュニティ向けのニュースサイトを運営し、中国側の主張を含む親中的な内容の記事を掲載したとの容疑で検挙。



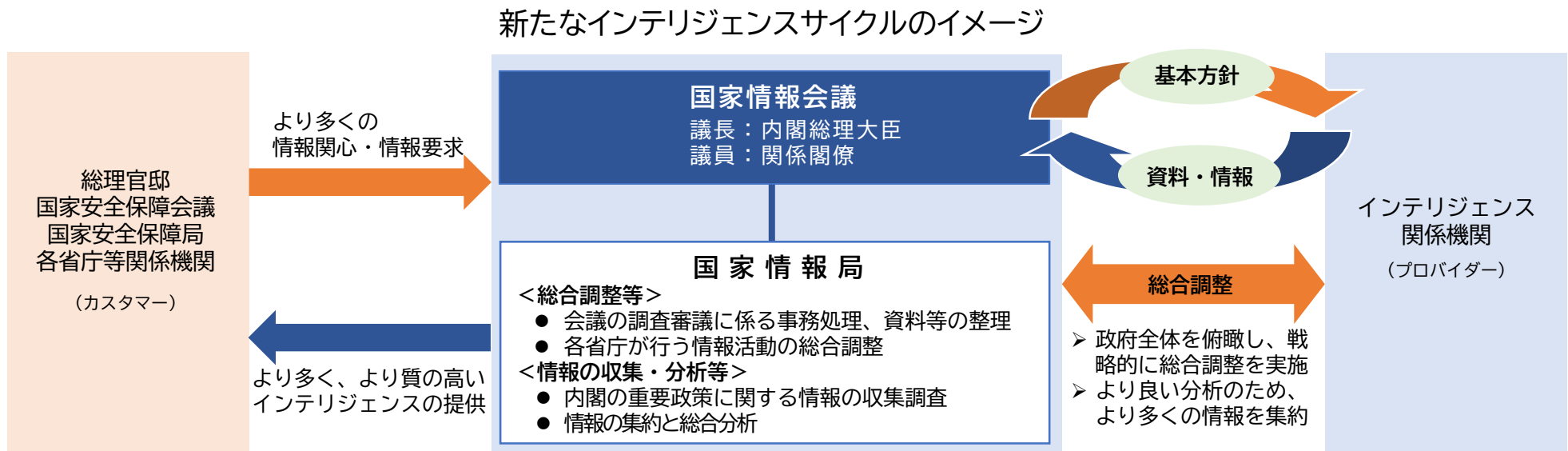
懸念国等による不当な工作を阻止するための**カウンターインテリジェンスの強化**が必要。

インテリジェンス機能の強化（司令塔機能の強化）

- 昨今の複雑で厳しい国際環境において、十分な情報をもとに我が国が直面する様々な課題に的確に対処するため、インテリジェンスの司令塔機能を強化する「国家情報会議設置法」が本年5月に成立。
- これに伴い、本年7月31日、「国家情報会議」及び「国家情報局」（内閣情報調査室を発展的に改組）を設置。

「国家情報会議」：総理を議長とする政治のリーダーシップの下、重要情報活動及び外国情報活動への対処（影響工作への対処を含む。）に関する重要事項等を調査審議し、各省庁の情報活動に対する「方向付け」を実施。

「国家情報局」：各省庁に対する「総合調整」を実施。より多くの情報を効率的に集約し、総合的な分析を行う体制を構築。



インテリジェンス機能の強化（今後の課題）

- 国民の安全や国益の確保のためには、司令塔機能の強化のみならず、
 - ・ 懸念国等の不当な工作への対処のための法制度を含む**カウンターインテリジェンスの強化**
 - ・ **対外情報機能**の充実を含む**各種情報収集・分析能力の強化**

についても、検討を進める必要。

なお、各種情報収集・分析能力の強化にあたっては、**AI等を活用した情報通信基盤を整備**するとともに、人的情報の収集体制を含め、**インテリジェンス関係機関の体制を強化**することが必要。

■ 政府の**情報活動の中長期的な推進方策**

（想定される主な項目）

- ・ 情報活動の意義や重要性
- ・ 情報部門と政策部門の分離による客観性の担保、両者の連携強化
- ・ インテリジェンスを担う人材の確保・育成の方針
- ・ AIや情報通信技術等の先端技術の導入・活用
- ・ 個人情報やプライバシーの保護、民主的統制 等

⇒ とりまとめた文書を作成・公表